

令和7年 第2回 隠岐の島町議会定例会一般質問
【一問一答方式です】

No. 1

No.	質 問 者	質 問 事 項
1	(2番) 村 上 一	<p>1. 西郷港周辺まちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆西郷港周辺まちづくりと他の都市計画区域、郡部のまちづくりとの関係は。 ◆港周辺整備事業の計画に対して地域住民の理解が得られているか。 ◆理解が不十分であれば、いったん事業を凍結し再検討すべきでは。 <p>2. 小中学校の統廃合について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子どもたちの健やかな成長と、郡部の発展は両立するものと考えているか。 ◆検討委員会の報告をどのようにとらえているか。 ◆適正規模10人を変更するのか、小中一貫校の検討やアンケート調査はしないのか。 <p>3. 隠岐汽船の減便問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆隠岐汽船の人手不足の状況をどのようにとらえているか。 ◆国や県に対して支援要請をすべきではないか。 ◆隠岐水産高校進学者に対する奨学金の創設はできないか。 ◆隠岐汽船と広域連合との緊急対策会議は設置できないか。 <p>4. 今回の町議選挙の投票率低下について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆投票所の数を46カ所にもどせないか。 ◆臨時期日前投票所を増やせないか。 ◆開票速報の町内放送の途中経過発表はできないか。
2	(12番) 前 田 芳 樹	<p>1. 本町の2050年脱炭素化ロードマップの実行性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆隠岐の島町は、2050年ゼロカーボンシティ宣言をし、ロードマップの策定公表をしている。本町はロードマップ通りの実行と達成は困難ではないか。 <p>2. 浮体式洋上風力発電事業の行政主導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆本町は一刻も早く手始めの海上風波調査ブイの設置を行政主導で実施すべきではないか。 <p>3. 集落内道路の改善整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆全域的に集落内道路の幅員が狭く曲折して車を運転しての通行に難儀をする箇所が非常に多い。地域要望があれば拡幅改善整備に取り組むべきではないか。

令和7年 第2回 隠岐の島町議会定例会一般質問
【一問一答方式です】

No. 2

No.	質問者	質問事項
3	(4番) 脇田千代志	<p>1. 浮体式洋上風力発電の誘致による持続可能なまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆洋上風力発電の誘致がもたらしてくれるまちづくりへの恩恵について、どのような認識を持っているか。 ◆令和5年第3回定例会での一般質問への答弁に引用した「風力発電に係る事業計画策定ガイドライン」によるご説明は的を得たものか。 ◆町民の皆様のご期待に応えて、今、さらなる可能性に挑戦する(汗をかく)姿勢を見せてもらえるか。
4	(7番) 齋藤則子	<p>1. 模擬議会 旧村議会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆住民の声を聞くために、これまでに開催された中学生議会や女性議会のように、隠岐の島町の奥座敷(旧村、都万、五箇、布施、中村)で、模擬議会を開催してはどうか。
5	(9番) 菊地政文	<p>1. 地域担当職員制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆運用状況と体制にどう取り組んでいるか。 ◆活動の成果や課題が見えてきているか。 ◆地域への対応や周知・理解促進の方法は。
6	(8番) 村上謙武	<p>1. 令和8年度以降の隠岐の島町立小中学校のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆小中学校の適正規模・適正配置についての「隠岐の島町立小中学校のあり方に関する検討委員会」の検討結果を踏まえ、町として今後どのような形で地域住民等との議論を深めていくのか。 ◆令和8年度以降の隠岐の島町立小中学校のあり方に関する基本計画は、どのようなプロセスで策定する予定か。 ◆地域住民等への情報公開のあり方は。
7	(1番) 松山 貢	<p>1. 町政策の第2次総合振興計画 後期基本計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆本計画内に福祉関連についての記述が少ないが、加茂地区に新設された福祉施設に島の理想の一部をみる。これについての検証と展望は。 ◆協定を結んでいるモンベル社との現状迄の推移と認識、展望は。 ◆本計画の達成と展開を裏付け、支える権能を持った組織を要すると考えるが、見解は。